

日本学術会議主催 公開シンポジウム2013

日本農学アカデミー・日本土壌肥料学会共催



復興農学

東日本大震災への
土壌科学の貢献と課題

2013年9月13日 (金)

13時~17時

名古屋大学東山キャンパス

IB電子情報館 大講義室

総合司会 三枝 正彦・木村 真人 (日本学術会議)

復興農学が目指すもの

日本学術会議 宮崎 毅

宮城県の状況と土壌科学の課題

東北大学 南條正巳

福島県相馬市の津波被災地での営農再開における技術的対策 東京農業大学 後藤 逸男
飯館村 村学協同の除染村民の手による調査と除染の努力 ふくしま再生の会 菅野 宗夫
支援農学者のコメント 東京大学 溝口 勝

現地土壌におけるセシウム固定

京都府立大学 中尾 淳

除染技術の高度化—セシウムの濃縮分離

(独) 国際農林水産業研究センター (飯館村)

万福裕造

汚染森林の管理の現状と課題

林野庁 技術開発推進室長 中村 道人

キーノート・コメント

(学術会議と復興農学)

日本学術会議 西澤 直子

(復興と土壌科学)

日本土壌協会 松本 聡

(復興農学の国際発信)

東京大学 中西 友子

(復興の真実)

東京大学名誉教授 森 敏

閉会総括 復興農学の実践に向けて

日本学術会議 土壌科学分科会長 三輪 睿太郎

(「東日本大震災からの復興農学 拠点」研究代表者)